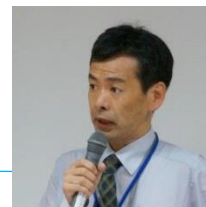




## 2014 Tsukuba Nanotechnology Symposium (TNS'14) 開催報告

7月25日・26日の2日間、つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム（略称：オナーズプログラム）主催による2014 Tsukuba Nanotechnology Symposium (TNS'14) が開催されました。

本シンポジウムの企画・運営を行った黒田眞司教授にお話を伺いました。



オナーズプログラム運営委員  
黒田 眞司教授  
(筑波大学数理物質系)

7月25日（金）～26日（土）、筑波大学総合研究棟A110室において、2014 Tsukuba Nanotechnology Symposium (TNS'14)（第9回つくばナノテク拠点シンポジウム）が開催され、2日間で国内外の学生、研究者ら150名以上が参加しました。

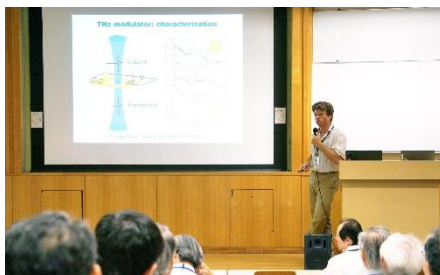
シンポジウムは吉川晃筑波大学副学長・理事、曾根純一物質・材料研究機構理事のご挨拶に始まり、Nano-science/electronics, Photonics, Spintronics, Nano-carbon, Nanobio/micro-fluidics, Tsukuba collaborations (つくば連携研究)の各セッションで、最先端の研究紹介および討論が行われました。本年は、以下の国内外の大学・機関より総勢18名の招待講演者をお招きしました。

〔海外〕 Univ. Modena（イタリア）、Univ. Tennessee、Harvard Univ.、Rice Univ.、Stanford Univ.、Univ. California-Santa Cruz、SUNY-Albany（以上アメリカ）、Univ. Strasbourg（フランス）、ICFO-Institut de Ciencies Fotoniques（スペイン）

〔国内〕筑波大学、東北大学、東京理科大学、産業技術総合研究所（AIST）、物質・材料研究機構（NIMS）、高エネルギー加速器研究機構（KEK）、NTT研究所

シンポジウムでは、招待講演者による上記のセッションの他に、1日目にポスターセッションが設けられ、オナーズプログラムの学生(3分間のショートプレゼンテーション付)に加え、筑波大学とNIMS、AIST連携研究プログラムの参加者、筑波大学および他大学（慶応大学、横浜国立大学）の学生、研究者による多くの興味深い発表が行われました。また、オナーズプログラム学生のポスター発表の中から、3件のポスターアワードが選出され、1日目夜の懇親会で表彰式を行いました。

シンポジウム2日目も、前日にも増して多くの方のご参加をいただき、好評のうちにTNS'14の幕を閉じることができました。



(上段左から)  
挨拶する吉川筑波大学副学長・理事、  
曾根物質・材料研究機構理事、招待  
講演者による熱のこもった講演、講  
演に熱心に耳を傾ける聴衆  
(下段左から)  
懇親会の様子、ポスターアワード表  
彰者

TIA連携大学院WG News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。

<http://tia-edu.jp>